4-④ 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁改修

①所要量の確認
[4.6.2] [表4.6.1]

工程ごとの所要量の確認 ⊙改修標準仕様書表4.6.1による ・

②既存塗膜等の除去及び下地処理
[4.6.3]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	・図示 ・ （既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする）	4−1～4−2による
⊙高圧水洗工法 加圧力 ・10～15MPa程度	・図示	
・塗膜はく離剤工法	・図示 ・	
・水洗い工法	・図示 ・	

③下地調整塗材
[4.6.4]

⊙下地調整塗材 C－1（アルカリカチオン系）
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上げ塗材主材

④仕上げ塗材
[4.6.5]

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
・ ・

新規仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り） ・さざ波状
	・外装薄塗材E	・	・平たん状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・防水形外装薄塗材 E	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	上塗材 ・適用する ・適用しない
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	・	上塗材
	・複層塗材Si	・	耐候性 ・耐候形3種 ・
	・複層塗材E	・	溶媒 ・水系 ・溶剤系
	・複層塗材RE	・	樹脂 ・アクリル系・
	・防水形複層塗材CE	・	外観 ・つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材E	・	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	・	
	・防水形複層塗材RS	・	・増塗材 ・適用する ・適用しない
⊙可とう系改修用仕上塗材 ⊙可とう系改修外壁仕上材	・可とう系改修塗材E	・	⊙平たん状
	⊙可とう系改修塗材RE	・	・さざ波状
	⊙可とう系改修塗材CE	・	・ゆず肌状
⊙水性ｳﾚﾀﾝｼｮﾝ塗料 軒天仕上材	⊙合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	・	⊙ローラー塗り
⊙水性ﾌｯ素樹脂塗料 屋根仕上材	⊙屋根用ﾌｯ素樹脂塗料	・	⊙ローラー塗り
⊙構造物用耐候性塗料 物置・自転車置場屋根・壁仕上材	⊙耐候性塗料塗材DP 物置・自転車置場屋根・壁仕上材	・	⊙ローラー塗り

[4.6.6]

5 建具改修工事

1 改修工法
[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具		・	・	・建具表による ・
・樹脂製建具		—	・	・建具表による ・
・鋼製建具	・外部	・	・	・建具表による ・
	・内部	・	・	・建具表による ・
・鋼製軽量建具		・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具		・	・	・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ⊙図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ⊙図示 ・

2 防火戸
[5.1.4]

・適用する 適用箇所（・建具表による ・ ）
・適用しない

3 見本の製作等
[5.1.5]

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ）
・行わない
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
・行わない

4 防犯建物部品
[5.1.7]

・適用する（ ） 適用箇所（・建具表による ・ ）
・適用しない

5 建具改修工事

5 アルミニウム製建具
[5.2.2、4、5] [表5.2.2]

性能等級
外部に面する建具 ・A種（建具符号：・建具表による ・ ）
・B種（建具符号：・建具表による ・ ）
・C種（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
表面処理
外部に面する建具 ・B－1種 ・B－2種 ・
皮膜等の種類（・改修標準仕様書表5.2.2による ・ ）
着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）
屋内の建具 ・C－1種 ・C－2種 ・
皮膜等の種類（・改修標準仕様書表5.2.2による ・ ）
着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）
結露水の処理方法 ・図示 ・
水切り板、ぜん板 ・図示 ・

網戸等
[5.2.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製	・0.25mm以上 ・	・16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 樹脂製建具
[5.3.2～5]

性能等級
外部に面する建具 ・A種（建具符号：・建具表による ・ ）
・B種（建具符号：・建具表による ・ ）
・C種（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（・T－1・T－2）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級
（・H－4・H－5 ・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
表面色 ・標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ・図示 ・
ガラス ・複層ガラス ・

7 鋼製建具
[5.2.2] [5.4.2～4] [表5.4.2]

性能等級
簡易気密型 ・適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-5（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）
・
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ T3 ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない

鋼板

材料	めっき付着量	厚さ
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	・Z12又はF12 ・	・標準仕様書表5.4.2による ・
・JIS G 3317（溶融亜鉛−5%アルミニウム合金めっき鋼板）	・Y08 ・	

8 鋼製軽量建具
[5.2.2] [5.5.2～4]

性能等級
簡易気密型 ・適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない

鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板
鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.1による ・
召合せ、縦小口包み板の材質 ・鋼板 ・

9 ステンレス製建具
[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～4]

性能等級
簡易気密型 ・適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-5（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）
・
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
鋼板（屋外） ・SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、 ・
鋼板（屋内） ・SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、 SUS430 ・
表面仕上げ ・HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ

10 建具用金物
[5.7.2、3]

金物の種類・見え掛り部の材質等 ⊙改修標準仕様書表5.7.1による ・
樹脂製建具に使用する丁番 ・改修標準仕様書表5.7.3による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ⊙建具表による ・

・錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】
（品質）
工事建築材料等品質性能表による
（性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による
・錠前類 【レバーハンドル】
（性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による
・クローザ類
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

11 鍵
[5.7.4]

マスターキー ・製作する ⊙製作しない ・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵 ・各室3本1組 ・
鍵箱 ・無 ・有

12 自動ドア開閉装置
[5.8.2、3]

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・SSLD−1 ・SSLD−2 ・DSLD−1 ・DSLD−2	・改修標準仕様書表5.8.1による ・	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ・行わない
・SWD−1 ・SWD−2	・改修標準仕様書表5.8.2による ・			
・図示	・			

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

13 自閉式上吊り引戸装置
[5.9.3]

性能 ・ 改修標準仕様書表5.9.1による
（試験）
工事建築材料等品質性能表による

14 重量シャッター
[5.10.2、3]

シャッターの種類	耐風圧強度
・一般重量シャッター	耐風圧強度 （ ）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度 （ ）N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能による種類 ・上部電動式（手動併用） ・上部手動式
一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ・Z12又はF12 ・

15 軽量シャッター
[5.11.2～4]

開閉形式 ・手動式 ・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度 （ ）N/㎡
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっき付着量 （・Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム−亜鉛合金めっき鋼板）
めっき付着量 （・AZ90 ・ ）
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

16 オーバーヘッドドア
[5.12.2、3]

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

17 ガラス
[3.7] [5.13.2～4] [表5.13.1]

・板ガラス

品種	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
・網入磨きガラス	⊙網入磨きガラス	・Ⅱ−1類・Ⅱ−2類
ガラス	・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅲ類 ⊙Ⅰ類

・強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	性能
・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・型板ガラス	・型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス

品種	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

・複層ガラス

品種	断熱性	日射熱遮へい性
・断熱複層ガラス	・1種	U1
	・2種	U2
	・3種	・U-3-1 ・U-3−2
・日射熱遮へい複層ガラス	・4種	E4
	・5種	E5

・熱線反射ガラス

品種	日射遮へい性	耐久性
・熱線反射ガラス 色調（・ブルー ・グレー）	・1種 ・2種	A種 ・A種 ・B種
・高性能熱線反射ガラス 色調（・ブロンズ ・シルバー）	・3種	B種

反射被膜面 ・内面 ・外面
映像調整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
・フロート倍強度ガラス	ー
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

ガラス留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・改修標準仕様書表5.13による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	・改修標準仕様書表5.13による ・図示
ステンレス製	・シーリング材 ・	・改修標準仕様書表5.13による ・図示

18 ガラスブロック
[5.13.5]

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅（mm） 平積み	目地幅（mm） 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	・8～15	外側 ・15以下 ・	・6m以下ごとに10～25 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125	・	・	・15～25 ・		・図示 ・	
	・200×200	・95 ・125	・	・		内側 ・6以上 ・		
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ・図示 ・ ）
・設けない
力骨 材質 ・ステンレス鋼（SUS304）・
寸法 ・径5.5mm ・
形状 ・はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示 ・
形状 ・図示 ・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない ・ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・

19 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
・ガラス飛散防止フィルム	GS	※内張り ・外張り	飛散防止率D 1
・日射調整フィルムG			
・			

品質 JIS A 5759による

工事名称	特記仕様書3	設計	担当			一級建築士 登録 169665 号	向井照雄建築事務所	図面番号
市営住宅山田住宅長寿命化型改善 工事設計図			意匠	構造	設備	向井照雄	三重県志摩市磯部町迫間 409-3 電話 0599-55-0157	A — 3
		訂正						